

## 総合的な学習の時間学習指導案

令和3年11月19日（金）5校時  
第3学年1組 児童数33名  
授業者 T1 藤井 雅子  
T2 入澤 ゆう子

**単元名** 発見！たんけん！海田町 ～海田町の“いいね！”を伝えよう～

### 1 単元目標

海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域を散策し、自分達が見付けた“いいね”をポスターに表して伝えるという活動を通して、地域の公共施設や歴史、自然環境、それぞれのよさに気付くとともに、親しみや誇りをもち、これからの自分自身と地域の繋がりについて考えることができるようにする。

### 2 単元設定の理由

<p><b>(1) 児童の実態</b>                  本学級の児童は、今までに校区内探検を行い、中でも「公園」に着目して学習を進めてきた。日頃、自分達がよく遊んでいる公園を比較し、町役場の都市整備課等と連携して、「よりよい公園にするために自分たちにできること」を実行することで、身近な環境に関わるよさを実感してきている。また、社会科では、海田町の特徴について学習しており、児童の興味関心は、身近な環境から校区外の様子へ広がり、「海田町の様子をもっと知りたい」という思いが高まりつつある。一方、日々の生活の中で、町内の公共施設や歴史、自然等のよさを感受するような体験をしている児童は少なく、それらへの馴染みも薄い。</p>	<p><b>(2) 教材について</b>                  本校近辺には、千葉家、日浦山、織田幹雄スクエア、ひまわり大橋等、海田町の名所が点在している。本單元では、「地域共生社会、郷土愛」を学習テーマに、自分の地域に親しみや誇りをもち、さらに、その気持ちを持続するために、自分たちにできることを考えさせることをねらいとしている。そのために、「海田町名所せんべい」を作っているシルバー人材センターの方やガイドボランティアの方との交流や名所散策等を行い、海田町の様々なよさに気付かせる。さらに、海田東小学校3年生やシルバー人材センターとコラボレートし、海田町の“いいね！”をポスターに表して伝えることで、実生活につながる活動にしていく。                  「10年後、私たちはどのように『人と人』『人と地域』のつながりを作っているだろう？」を本質的な問いとして、自分自身と地域のつながりについて深い学びを実現できるものと考え、本單元を設定した。</p>
<p><b>(3) 指導について</b>                  本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本單元では、次のような学習活動を行う。</p>	
資質・能力	手立て
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設や歴史、自然等に興味や関心をもたせるために、シルバー人材センターで作られている「海田町名所せんべい」に込められた思いについて、シルバープラザの所長さんの話を聞く場を設定する。</li> <li>・「海田町の“いいね！”を伝える」という意欲を持続させるために、その学習に取り組むことで何がどのように変わるかを考える場を設定する。</li> <li>・自分自身と関連付けて探究活動に取り組むために、“いいね！”の視点を「美しさ」「便利さ」「人々の努力」として、海田町の名所を探索させる。</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもって話し合いができるように、書く活動を取り入れたり、ウェビングやクラゲチャート等の思考ツールを使って整理したりしながら意見を交流させる。</li> <li>・海田東小学校3年生との意見交流やシルバープラザの所長さんや海田市ガイドの会の方との関わりをもつ場を設定し、学習を深めさせる。</li> <li>・司会等の役割を確認し、共通点や相違点を意識しながらまとめさせる。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバープラザの所長さんや海田市ガイドの会の方による他者評価、学習の記録等、ポートフォリオのフィードバックを通して、自己の変容に気付かせる。</li> <li>・本單元と社会科「わたしたちの町の歩み」を関連付けて、地域に対する視野の広がりに気付かせる。</li> </ul>

### 3 単元の評価規準とルーブリック

#### (1) 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①海田町の公共施設や歴史、自然環境などの様子や特徴を理解している。 ②目的や対象に応じて調査活動を実施している。 ③海田町を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学んだ成果であることに気付いている。	④関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもち、探索の計画を立てている。 ⑤課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、目的に合わせて蓄積している。 ⑥集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、観点に合わせて情報を整理し考えている。 ⑦相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	⑧学習課題に興味や関心をもち、複数の視点から海田町のよさを見付けようとしている。 ⑨課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることに気付いたり、学習内容の振り返りの中で、自己の変容に気付いたりしている。 ⑩地域との関わりの中で自分のできることを見つけようとしている。

#### (2) 教師用ルーブリック

資質・能力		評価S	評価A	評価B	評価C
主体性	⑧	ポスターで海田町の“いいね！”を伝えることに興味や関心をもち、「美しさ」「便利さ」「人々の努力」の視点で海田町のよさと、それらの具体例を見付けようとしている。	ポスターで海田町の“いいね！”を伝えることに興味や関心をもち、「美しさ」「便利さ」「人々の努力」の視点で海田町のよさを見付けようとしている。	海田町の“いいね！”を伝えることに興味や関心をもっている。	海田町の“いいね！”を伝えることに関心をもっていない。
コミュニケーション力	⑥	友達の考えとの共通点や相違点を捉えながら自分の考えを伝え、複数の意見からよりよいキャッチコピーを作ろうとしている。	友達の考えとの共通点や相違点を捉えながら自分の考えを伝えている。	自分の考えを伝えている。	自分の考えを伝えていない。
メタ認知	⑨	学習したことや学習の仕方を振り返り、海田町への思いの深まりや、次への課題に気付いている。	学習したことや学習の仕方を振り返り、海田町への思いの深まりに気付いている。	学習したことを振り返り、海田町に対する思いや考えをもっている。	海田町に対する思いや考えをもてない。

#### (3) 児童ルーブリック

資質・能力	◎	○
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクワク・ドキドキする</li> <li>海田町の「美しさ」「便利さ」「人々の努力」と、それぞれの例を見付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクワク・ドキドキする</li> <li>海田町の「美しさ」「便利さ」「人々の努力」を見付ける</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>うなずきながら聞く</li> <li>同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>自分の考えを表す</li> <li>つけ加えたり、まとめたりして、話を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うなずきながら聞く</li> <li>同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>自分の考えを表す</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町への思いが深まったことに気付く</li> <li>次の課題に気付く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町への思いが深まったことに気付く</li> </ul>

4 指導と評価の計画（全14時間）

学習段階 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	指導のポイント等
導入 「知る」 (1)	○私たちが住んでいる海田町のよさは何だろう。 ○シルバー人材センターで「海田町名所せんべい」が作られていることを知る。	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ法的手法やランキングで、海田町についての関心をもたせる。</li> <li>・「海田町名所せんべい」の4つの図柄を見て、海田町の名所に出会う場とする。</li> <li>・どうして、海田町の名所が描かれているのか疑問をもたせる。</li> </ul>
情報収集 「知る」 (1)	○シルバー人材センターの方から「海田町名所せんべい」にこめた思いを聞き、海田町の名所について関心をもつ。 ○学習計画を立てる。			⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年4月の海田町広報を提示し、「海田町名所せんべい」に、どのような思いがこめられているかを想像させる。</li> <li>・シルバー人材センターの方から海田町に対する思いを伺い、これからどのような学習をしていきたいか個の思いを出させ、整理する。</li> </ul>
課題設定 「観る」 (1)	○自分達のプロジェクトの方法とその価値について考え、ルーブリックを確認する。 ○海田町の名所の伝え方と“いいね！”の視点を決める。 ○海田市ガイドの会の方に自分達が調べたい場所と内容を伝える。		④		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの方の言葉を想起させ、「海田町のよさを伝えることで、どのようになるのか」を問うことで、プロジェクトの価値について考えさせる。</li> <li>・誰に、何を、どのような方法で伝えるかを明確にさせる。</li> <li>・「千葉家」「織田幹雄スクエア」「ひまわり大橋」「日浦山」の位置を地図で確認し、海田市ガイドの会の協力が必要なことに気付かせる。</li> </ul>
情報の収集 「探る」 (4)	○「千葉家」「織田幹雄スクエア」「ひまわり大橋」「日浦山」の“いいね！”について調べる。	②	⑤	⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学では、「美しさ」「便利さ」「人々の努力」を視点とすることをおさえる。</li> <li>・事前に、ガイドさんに3つの視点について語っていただくよう依頼しておく。</li> </ul>
整理分析 「探る」 (2)	○各名所の“いいね！”について話し合う。 ○自分達が見つけた“いいね！”を出し合い、ポスターに書き表す事柄を決める。【本時】			⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェ方式で、見つけた“いいね！”を写真と照合し、聞き慣れない名称を確認すると共に、視点に沿って色別に付箋に書き出させるようにする。</li> <li>・ポスターに載せる内容を確認し、クラゲチャートを使って、各名所の“いいね！”が伝わるキャッチコピーを関連させる。</li> </ul>
表現 「創る」 (4)	○「海田名所せんべい」ポスターを作成する。 ○海田東小学校3年生と海田町のよさについて意見交流を行い、海田市ガイドの方等の評価を聞く。 ○前時を受けて、ポスターを修正し、完成させる。		⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各名所の“いいね！”が伝わる簡単な説明になるように、クラゲチャートを基にして言葉を精選して表すように助言する。</li> <li>・シルバー人材センターの方や海田市ガイドの会の方から評価をもらうことで、他者視点にたったポスター作りになるようにする。</li> </ul>
まとめ・新たな課題の設定 「省みる」 (1)	○自分達の活動を振り返るとともに、海田町への思いについてまとめる。	③		⑨ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して学習を振り返る。</li> </ul>

5 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）				
<p>1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時までの学習を想起させたり、ポスターのイメージ図やよさを確認したりして、自分達の見付けた名所の“いいね！”を多くの人に分かりやすく伝えることを意識化させる。</p> <p>○2つの例文を比較させ，“いいね”だけでなく、名所のキャッチコピーを書く必要性に気付かせる。</p>					
<p><b>めあて</b> ポスターで伝える、海田町の名所の“いいね”（見どころ）とキャッチコピーを決めよう。</p>						
<p>2 ルーブリックを共有する。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">◎</th> <th style="text-align: center;">○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す</li> <li>・つけ加えたり、まとめたりして、話を整理する</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す</li> <li>・つけ加えたり、まとめたりして、話を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す。</li> </ul>	
◎	○					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す</li> <li>・つけ加えたり、まとめたりして、話を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く</li> <li>・同じところやちがいをくらべながら聞く</li> <li>・自分の考え（とくちょうと例）を表す。</li> </ul>					
<p>3 グループでポスターに書き表す“いいね”を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野神社</li> <li>・旧千葉家住宅</li> <li>・織田幹雄スクエア</li> <li>・ひまわり大橋</li> </ul>	<p>○クラゲチャートを使い各名所の“いいね！”とキャッチコピーを関連付けるようにする。</p> <p>○指導者が話し合い活動のやり取りについて例示し、コミュニケーションの取り方についてイメージをもたせる。</p> <p>○キャッチコピーには、印象の強い、短い言葉と場所を入れることを確認する。</p> <p>〈児童の状況に応じた指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもちにくい児童が、特徴につながる事例を挙げることができるように、各グループに見学時の写真を配布しておく。</li> </ul>	<p><b>【 思・判・表 】</b></p> <p>友達のと自分の共通点や相違点を捉えながら自分の考えを伝えている。（発言分析・ノート）</p>				
<p>・千葉家には、ウサギの図柄が描かれた欄間やきれいな庭、トイレには刀を置くところがあったね。だから、キャッチコピーは、「昔の様子が分かる」というのはどうかな？</p> <p>・織田幹雄スクエアのキャッチコピーは「織田幹雄さんのすごさが分かる場所」。金メダルを取ったこともすごいけど、記録を取って工夫して練習したことに驚いたよ。</p> <p>・ひまわり大橋の“いいね！”は、便利なこと。鳥や魚も見えたね。人と自転車しか通れないので安心だし、ベンチがあってくつろげるよ。</p>						
<p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○各グループのクラゲチャートを比較しやすいように提示することで、共通点や相違点に気付かせるようにする。</p>					
<p><b>ふり振り返り</b> 班の友達と話し合っ、 “いいね！” とキャッチコピー決めることができたので、海田町のよさが伝わるポスターを作ることができそうだと同じ場所でも、人によって “いいね！” の感じ方が違うことが分かった。</p>						
<p>6 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次時は、クラゲチャートをもとにしながら、ポスターの言葉を決めることを伝える。</p>					

6 板書計画

めあて ポスターで伝える、海田町の名所のとくちようと“いいね”（見どころ）を決めよう。

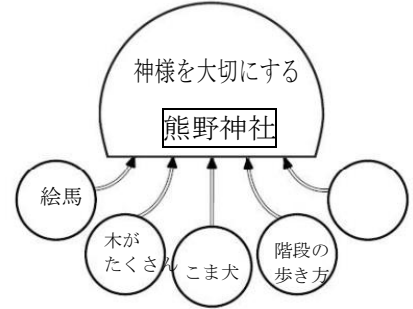
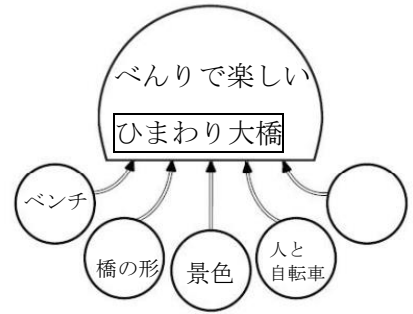
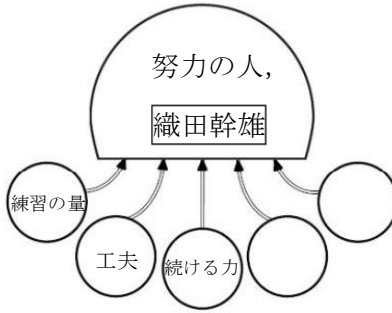
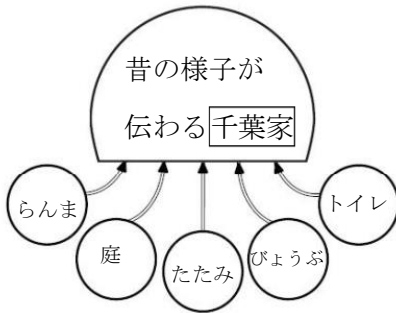
- ◎
- ・うなずきながら
  - ・くらべながら聞く
  - ・自分の考え（とくちようと例）を表す
  - ・つけ加えやまとめをして話をせいりする

- 
- ・うなずきながら
  - ・くらべながら聞く
  - ・自分の考え（とくちようと例）を表す

例文 1

例文 2

キャッチコピー  
↓↑  
“いいね！”



ふりかえり

班の友達と話し合っ、 “いいね！” とキャッチコピー決めることができたので、海田町のよさが伝わるポスターを作ることができそうだ。